

記載例 令和3年度事務事業評価シート 資料1-7

1. 基礎情報												
事務事業名	⑦ 経営改善推進事業					① 政策調整	部	企画調整	課			
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	9	事業	2	企画調査推進費	⑧
総合計画 での 位置付け	分野	5		市民活動・行財政運営							⑨	
	施策	3		効果的・効率的な行財政運営								
	取組方針	1		計画的で効率的な行財政運営								
根拠法令等	野洲市経営改善方針									⑩		

2. Plan (計画)			
事業概要	H26～H30年度に取り組んだ「行財政改革推進計画」の結果を受け、R1～R5年度における行政経営の指針である経営改善方針をH30年10月に策定した。その実行計画であるアクションプランを策定するとともに同プランを推進し、職員一人ひとりの生産性を高め、市の有する資源を有効に活用し、公共サービスの質の向上を図る。 ⑪		
目的	対象 (誰を・何を)	①職員 ②市の有する資源	⑫
	意図 (どうしたいか)	①生産性を高める ②有効活用を図る	
手段 (どうやって)	都市経営審議会の開催 経営改善評価委員会の開催 アクションプランに定めた取組みの推進		

3. Do (実施)						
項目名	数値 単位	過去3年の実績			今年度予算額	
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
コスト	コスト合計	3,903 千円	4,415 千円	5,030 千円	5,030 千円	
	事業費	203 千円	82 千円	161 千円	161 千円	
	特定財源	千円	⑬ 千円	千円	千円	
	使用料等	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	203 千円	82 千円	161 千円	161 千円	
	人件費	3,700 千円	4,333 千円	4,869 千円	4,869 千円	
	正規職員	3,700 千円	4,333 千円	4,869 千円	4,869 千円	
人工数 〔×平均給与額〕	0.65 人工 ×@5,692千円	0.76 人工 ×@5,701千円	0.85 人工 ×@5,728千円	0.85 人工 ×@5,728千円		
他の職員	千円	⑭ 千円	千円	千円		
対象数	職員数	⑮ 436 人	453 人	429 人	目標値	達成年度
	公共施設の総床面積	186,592 m ²	184,450 m ²	188,229 m ²		
活動指標	都市経営審議会の開催回数	⑯ 5	2 回	3 回	3	R3
	評価委員会の開催回数	—	—	8 回	6	R3
成果指標	経営改善に関する取組みの進捗割合	76 %	86 %	未確定 %	100	R5
	時間外勤務手当支給額（職員一人当たり平均支給年額）	460 千円	509 千円	未確定 千円	348	R5

4. Check (評価)

評価項目		評価		評価の理由
I 必要性	① 現在の社会・経済問題として対応する必要があるか	A	社会的に強く求められている	社会情勢や経済環境等の変化に対応するため、常に取り組むべきものである。 ⓧ
	② 対象者のニーズ、利用者の需要は増えているか	A	増加する見込み ⓧ	
	③ 市が主体的に実施する必要があるか	B	法令等に義務付けはないが市が実施すべき	
II 有効性	① 施策等の目的実現に貢献しているか	A	施策への貢献が大きい	施策の目的達成への貢献は大きい。取組みを着実に進めていく必要がある。
	② 成果（結果）指標は目標を達成できているか	B	相当程度進展している	
	③ 市民（対象者）の事業に対する満足度は高いか	B	概ね満足	
III 効率性	① 改善を行い、コストの節減を図っているか	A	節減できている	外部委員で構成された審議会での議論を経て進めており、最大限効率化を図っている。
	② 実施手法は適切か（外部委託等の可能性はあるか）	B	手法に改善の余地がある	
	③ コストに対する成果（業務効率）は向上しているか	B	横ばい	
	④ 受益者に適切な負担を求めているか	—	求めるべきものでない	

A(2点) 4 項目 B(1点) 5 項目 C(0点) 0 項目 —(除外) 1 項目

判定	適合率	判定基準			必要性
		判定	適合率	評価目安	
B	72%	A	75%以上	充実又は継続	
		B	50%以上75%未満	継続又は改善	
(前回)		C	25%以上50%未満	改善又は縮小	
B	72%	D	25%未満	縮小又は廃止	
特記事項 (考慮すべき事由)					

5. Action (改善)

事業所管課 評価結果 (一次評価)	課題	職員の意識改革といった基盤作りを主眼に置いて進めてきたが、財政的効果を生み出す取組を進めていく必要がある。 ⓧ
ⓧ 改善	今後の取組み	これまでの取組みをベースとして、新たな考え方や手法を取り入れ、更に踏み込んだ取組を進める。 ⓧ

6. Follow (追跡)

調整後 評価結果 (二次評価)	改善	評価内容	(仮) 取組みの効果額も目標に設定し、進捗管理を行うこと。
-----------------------	----	------	----------------------------------

取組み 結果	(仮) 目標未達の項目について、実施方法の見直しを行った。 ⓧ	取組み の進捗	継続確認
-----------	------------------------------------	------------	------